

CASBEE-建築(新築)2016年版
 (仮称)グランドメゾン浄水ガーデンシティプロジェクトⅡ期-②

 ■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階						
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質								2.9
Q1 室内環境					0.40		-	3.1
1 音環境				3.0	0.15	2.9	1.00	2.9
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.50	3.0	0.50	
1.2 遮音				3.0	0.50	2.8	0.50	
1 開口部遮音性能				3.0	1.00	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能				-	-	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	1.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		遮音等級Lr-50		-	-	4.0	0.20	
1.3 吸音				-	-	-	-	
2 温熱環境				2.2	0.35	3.3	1.00	3.0
2.1 室温制御				2.2	0.50	3.7	0.50	
1 室温				3.0	0.63	3.0	0.63	
2 外皮性能		住宅性能評価 断熱等級4を超える水準		1.0	0.38	5.0	0.38	
3 ゾーン別制御性				-	-	-	-	
2.2 湿度制御				1.0	0.20	3.0	0.20	
2.3 空調方式				3.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・視環境				2.6	0.25	2.9	1.00	2.8
3.1 昼光利用				1.8	0.30	1.9	0.30	
1 昼光率				1.0	0.60	2.0	0.50	
2 方位別開口				-	-	1.0	0.30	
3 昼光利用設備				3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策				3.0	0.30	4.0	0.30	
1 昼光制御		カーテン+庇(バルコニー)にて昼光制御		3.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度				3.0	0.15	3.0	0.15	
3.4 照明制御				3.0	0.25	3.0	0.25	
4 空気質環境				3.6	0.25	3.6	1.00	3.6
4.1 発生源対策				4.0	0.60	4.0	0.63	
1 化学汚染物質		F☆☆☆☆の建築材料をほぼ全面的に採用		4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気				3.0	0.40	3.0	0.38	
1 換気量				3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能				-	-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理				-	-	-	-	
1 CO ₂ の監視				-	-	-	-	
2 喫煙の制御				-	-	-	-	
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	3.3
1 機能性				3.7	0.40	3.2	1.00	3.3
1.1 機能性・使いやすさ				4.0	0.40	3.0	0.60	
1 広さ・収納性				-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応				-	-	3.0	1.00	
3 バリアフリー計画		バリアフリー新法の建築物移動等円滑化基準(最低限のレベル)を満たしている		4.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性				3.0	0.30	3.5	0.40	
1 広さ感・景観		天井高2.5m		-	-	4.0	0.50	
2 リフレッシュスペース				-	-	-	-	
3 内装計画				3.0	1.00	3.0	0.50	
1.3 維持管理				4.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		①エントランスの壁はタイル貼り仕上②エントランスの床はタイル貼り仕上③床面の水洗浄可能(床面に水がたまる隙間なし)⑤風除室の1次扉、2次扉は1m以上確保⑥維持管理方法の異なる仕上げを隣接させていない⑩外部に露出する金属部材はSUS等を使用		4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		①清掃資材を保管するスペース確保②清掃資材の洗い場を設置、安全な排水計画④廃棄物のスペース確保⑤専用の清掃流し設置⑥掃除用コンセントを設ける⑧洗面台等の排水トラップは取り外し清掃可能		4.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性				3.2	0.30	-	-	3.2
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数				3.7	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		劣化対策等級3		5.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		床フローリングt12、壁ビニルクロス(PBt12.5)、天井ビニルクロス(PBt9.5)		4.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水)水道用ポリエチレン管(B)、雑排水)排水用VP管(B)、汚水排水)排水用VP管(B)、Eは不使用		5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性				3.0	0.20	-	-	
1 空調・換気設備				3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備				3.0	0.20	-	-	
3 電気設備				3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備				3.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性		3.0	0.30	3.6	1.00	3.4
3.1 空間のゆとり		-	-	4.2	0.50	
1	階高のゆとり	階高3.0m以上	-	5.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ		-	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり		-	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性		3.0	1.00	-	-	
1	空調配管の更新性	3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性	3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性	3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性	3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性	3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保	3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	2.2
1 生物環境の保全と創出		1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮		2.5	0.30	-	-	2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上	2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.7
LR1 エネルギー		-	0.40	-	-	4.3
1 建物外皮の熱負荷抑制		住宅性能評価 断熱等級4を超える水準	5.0	0.20	-	5.0
2 自然エネルギー利用			2.0	0.10	-	2.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.69	5.0	0.50	-	5.0
4 効率的運用			3.0	0.20	-	3.0
集合住宅以外の評価			-	-	-	
4.1	モニタリング		-	-	-	
4.2	運用管理体制		-	-	-	
集合住宅の評価			3.0	1.00	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	
LR2 資源・マテリアル		-	0.30	-	-	3.4
1 水資源保護			3.4	0.20	-	3.4
1.1 節水		主要水栓の過半に泡沫栓などに加えて、節水型便器を採用している	4.0	0.40	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.5	0.60	-	3.5
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.10	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	陶磁器タイル:外壁/フローリング:ラウンジ床	4.0	0.20	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.10	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	内装が乾式工法で分別が容易、PS・天井内配管により設備と錯綜を	5.0	0.20	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.5	0.70	-	
1	消火剤		-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	ODP=0.01、GWP=50未満の発泡剤を用いた断熱材を使用	4.0	0.50	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	
LR3 敷地外環境		-	0.30	-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率71%	4.1	0.33	-	4.1
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	3.0
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	
2	污水处理負荷抑制		3.0	0.25	-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			-	-	-	
1	騒音		-	-	-	
2	振動		-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.67	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	
2	砂塵の抑制		1.0	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.33	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	